

看護師養成所施設長様

「看護師国家試験におけるコンピュータの活用」に関する調査協力をお願い

研究代表者 東京医療保健大学千葉看護学部
宮本千津子、小黒道子
順天堂大学医学部
西崎祐史

ご多用のところ、突然のお願いで恐縮です。現在、私たちは、厚生労働行政推進調査事業費補助金地域医療基盤開発推進事業「保健師助産師看護師国家試験におけるコンピュータの活用に関する研究(令和4年度)」を行っております。この度は本研究の最終段階として、全国の看護師養成所を対象に、参考調査を行うこととし、ここにご協力をお願いをさせていただきます。

本研究の目的は、保健師助産師看護師国家試験(以下、看護師等国家試験)にコンピュータを公正・公平かつ効果的・効率的に導入する方法等を検討するための基礎資料を提示することです。本調査は、①日本以外においてコンピュータを用いて看護師等資格試験を実施している国を対象とした調査、②日本国内においてコンピュータを用いて看護師等以外の職種における資格試験を実施している機関・仕組みを対象とした調査、および、③全国の看護師養成所を対象とし、看護師国家試験においてコンピュータを活用した際の利点や課題に関する実態調査(本調査)の3つから構成しております。

本調査(③)では、これまでの①②による資格試験にコンピュータを用いることに関する結果(別紙)を踏まえ、皆様の状況とご意見をうかがいます。

調査の主旨をご了解いただき、ぜひご協力をいただきたくお願い申し上げます。

【本調査の概要】

※以下の記載においては、コンピュータを利用した多肢選択式試験を CBT(Computer Based Test)と表記いたします。

○調査対象:全国の看護師養成所の施設長または看護師国家試験受験支援に総括的に携わる教員1名

○回答方法:調査票にご回答後、返送をお願いいたします。(回答に20分程度を想定しております)

【別紙:これまでの調査結果の概要】をご参照のうえ、ご回答ください。

CBTの例として、以下の他試験のサイトも参考にいただければと思います。

* <https://wsr.pearsonvue.com/demo-jp/>
(ピアソンVUE CBT試験デモ)

* <https://www.cato.or.jp/cbt/medical-cbt/index.html>
(公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構)

○調査項目：本調査では、保健師助産師看護師国家試験のうち、主として【看護師国家試験】についてのご意見や実態を収集いたします。看護師国家試験においてコンピュータを活用することの利点と課題に関わる貴校の教員・教育環境および学生の現状を、①授業や試験における ICT 活用状況、②国家試験受験準備とその支援、③ICT 環境、④総合的な利点と課題、⑤国家試験公募に関する現状の点から伺います。

○倫理的配慮：

- ・調査へのご回答をもって調査協力にご同意いただいたものとします。
- ・回答は無記名であり、所属施設名の記載は求めません。
- ・自由記載の内容で個人や組織が特定される場合には、これを加工して扱います。
- ・無記名方式のため、回答を送信した後に同意を撤回することはできません。
- ・結果は報告書としてまとめ、厚生労働行政推進調査費事業補助金地域医療基盤開発推進研究事業として公開されます。なお、本研究の結果を参考資料とすることはありますが、誌上、学会等で研究として発表をすることはありません。

【ご協力いただける場合の回答方法】

ご協力いただける場合には、同封の調査票にご回答いただき、返信用封筒に封入の上、ご返送ください。

ご協力の程、何卒、よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ等連絡先】

〒273-8710 千葉県船橋市海神町西 1-1042-2

東京医療保健大学千葉看護学部

宮本千津子、小黒道子

Tel:047-495-7751

E-Mail:c-miyamoto@thcu.ac.jp(宮本)、m-oguro@thcu.ac.jp(小黒)